

平成 30 年 3 月期第 3 四半期の業績について

<概 要>

**【コア業務純益 943 百万円 前年同期比+373 百万円】**

預り資産の販売増加や法人向け手数料の増加等による役務取引等利益の増加、及び経費の削減などにより、銀行の本来業務の収益力を示すコア業務純益は、前年同期比 373 百万円増加して 943 百万円となりました。

**【貸出金残高 5,031 億円 平成 13 年 3 月期以降 16 年ぶりの 5 千億円台】**

貸出金残高（末残）は、法人向け貸出や住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加したことなどにより、平成 28 年 12 月末比 148 億円増加して 5,031 億円となりました。

**【開示債権比率 2.56% 平成 28 年 12 月末比 0.04 ポイント低下】**

開示債権比率（単体）は、お取引先の経営支援等に取り組んできたことなどにより、平成 28 年 12 月末比 0.04 ポイント低下して 2.56%となりました。

**【自己資本比率 9.64% 健全性を維持】**

自己資本比率（連結）は、貸出金残高の増加に伴うリスク・アセットの増加などにより、平成 29 年 9 月末比 0.05 ポイント低下して 9.64%となりました。

**【通期見通し・配当予想】**

通期の業績見通しは、平成 29 年 11 月 10 日に公表しました計数から変更ありません。  
なお、配当金は 30 円（※）の期末配当を予定しております。

※平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。

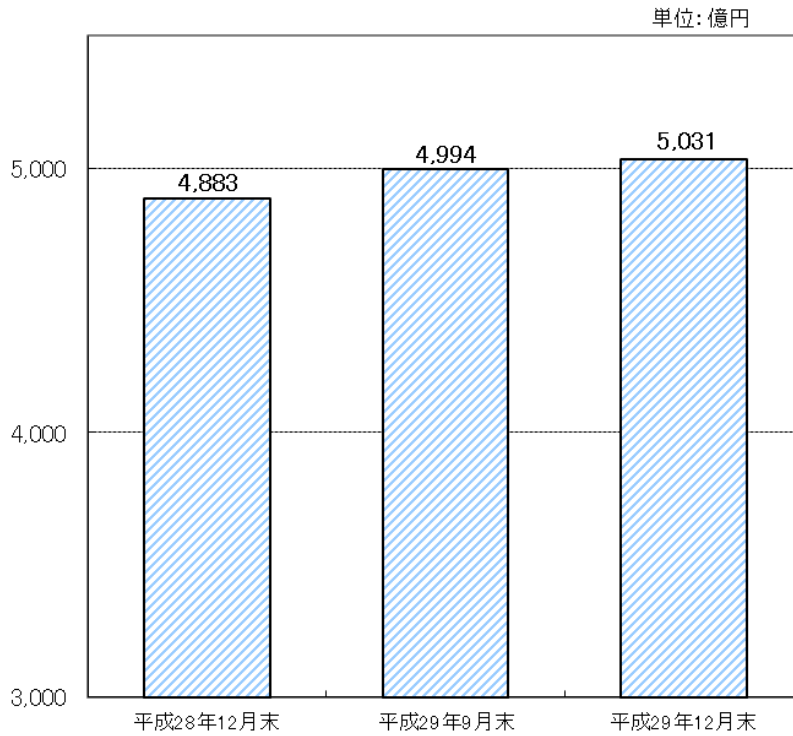
1. 損益の状況（単体）

（単位：百万円）

	平成 30 年 3 月期 第 3 四半期実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
コア業務純益	943	570	373	65.3%
経常収益	8,853	9,616	△763	△7.9%
経常利益	1,459	1,435	24	1.7%
四半期純利益	1,083	1,230	△146	△11.9%

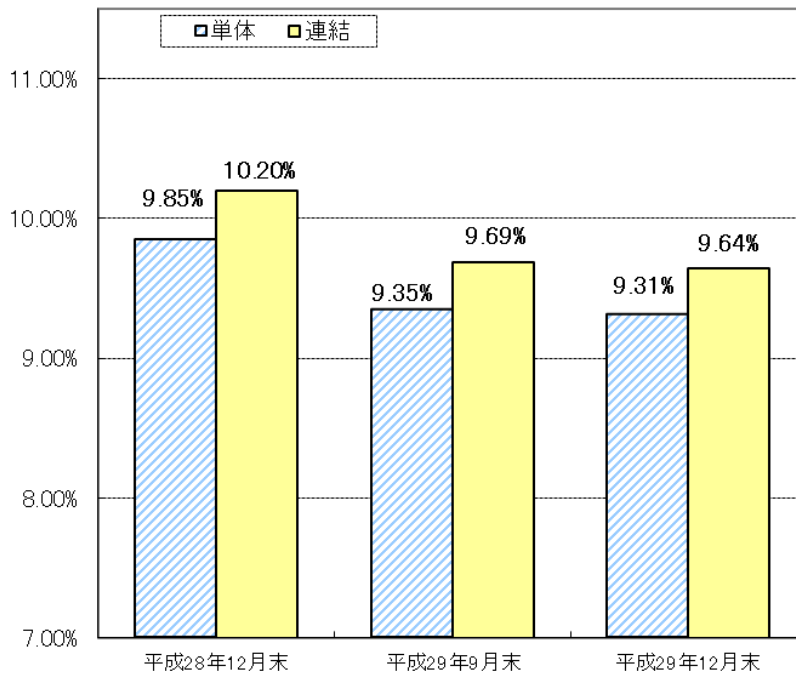
## 2. 貸出金残高（単体）

○平成 29 年 12 月末の貸出金残高は、法人向け貸出や住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加したことなどにより、平成 28 年 12 月末比 148 億円増加して 5,031 億円となりました。



## 3. 自己資本比率<国内基準>

○平成 29 年 12 月末の自己資本比率は、連結 9.64%、単体 9.31%となり、平成 29 年 9 月末比、連結で 0.05 ポイント、単体で 0.04 ポイント低下しました。



以 上